

表2 供試した飼料用トウモロコシ品種・系統

	品種・系統	相対熟度 (カタログ値)	販売メーカー 育成場所
1	TH875	95~100	タキイ種苗
2	TH1809	100	タキイ種苗
3	P9400	100~105	パイオニア
4	KE8500A	105	カネコ種苗
5 奨励 標準	36B08	106	パイオニア
6	KE1581	108	カネコ種苗
7	KE0604	110	カネコ種苗
8	北交72号	110	北農研
9 奨励 標準	セシリア	115	パイオニア
10	B308	115	パイオニア
11	KE9601	115	カネコ種苗
12	B703	120	パイオニア
13	SM8490	122	雪印種苗
14	SM8656	125	雪印種苗
15 標準	32F27	126	パイオニア
16	KE7750	127	カネコ種苗

結果および考察

播種は5月9日に行った。播種後の平均気温が
 平年並みに推移したため、発芽までに要した日数
 は11日と平年並みであった。発芽から播種後40日
 まで、気温と日照時間は平年並みまたは平年値以
 上で推移したため、播種後40日に調査した草丈は、
 平年よりも7~11 cm高かった。

発芽が確認された5月下旬~7月下旬までの気
 温と日照時間は平年並みか平年値以上で推移した
 ため、絹糸の抽出が確認された時期は平年並みで
 あった。

8月と9月は高温且つ日照時間も平年より3割
 程度多かったこともあり、黄熟期に達する日数は、
 早生および中生品種は平年並み、晩生品種は

平年よりも早かった。乾物収量は、早生品種は平
 年よりも1割程度少なく、中生品種と晩生品種は
 平年並みであった。

相対熟度が95~106日までの品種は、P9400
 が播種後40日に調査した草丈が80.3 cmと標準
 品種である36B08の76.6 cmに比較して高く(表
 3)、乾物総重量とTDN収量も標準品種を上回って
 いた。相対熟度が108~115日の品種は、乾物収量
 とTDN収量において標準品種であるセシリアを
 上回る品種は無かった。相対熟度が120~127日ま
 での品種を比較すると生総重量、乾物収量および
 TDN収量において標準品種である32F27とほぼ同等
 であったが、乾雌穂重割合が41%と低い結果で
 あったKE7750はTDN収量が劣っていた(表4)。

表3 生育特性

No	品種・系統名	相対熟度	初期生育草丈 (cm)	絹糸抽出日 (月日)	収穫月日 (月日)	収穫熟度	倒伏 (%)	折損 (%)	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)
1	TH875	95~100	78.9	7/23	9/7	黄後	0.0	0.2	251.8	111.7
2	TH1809	100	75.9	7/23	9/7	完初	0.0	0.7	242.1	105.3
3	P9400	100~105	80.3	7/23	9/7	完初	0.0	0.4	239.9	115.5
4	KE8500A	105	76.2	7/23	9/7	黄後	0.0	0.2	259.5	120.8
5	標準 36B08	106	76.6	7/23	9/7	黄中	0.0	0.1	219.5	97.3
6	KE1581	108	78.2	7/23	9/7	黄中	0.0	0.1	240.6	104.6
7	KE0604	110	72.6	7/25	9/7	黄中	0.0	0.2	253.1	109.7
8	北交72号	110	79.9	7/23	9/7	黄中	0.0	0.2	240.3	116.5
9	標準 セシリア	115	76.0	7/25	9/12	黄後	0.0	0.1	240.7	117.4
10	B308	115	68.5	7/23	9/12	黄中	0.0	0.1	250.5	110.8
11	KE9601	115	76.0	7/28	9/12	黄中	0.0	0.2	266.4	111.9
12	B703	120	72.8	7/30	9/12	黄中	0.0	0.2	270.3	115.8
13	SM8490	122	75.0	7/30	9/19	黄中	0.0	0.4	293.8	145.5
14	SM8656	125	75.8	7/28	9/25	黄中	0.0	0.5	275.2	137.8
15	標準 32F27	126	75.9	7/26	9/25	完初	0.0	0.5	292.9	139.3
16	KE7750	127	63.0	7/30	9/25	黄中	0.0	0.4	291.5	151.2

表4 収量特性

No	品種・系統名	相対熟度	生総重量		乾物収量				乾雌穂 重割合 (%)	栄養収量		
			(kg/10a)	標比 (%)	茎葉 (kg/10a)	雌穂 (kg/10a)	総重 (kg/10a)	標比 (%)		DCP (kg/10a)	TDN	標比 (%)
1	TH875	95~100	4224	103	921	1063	1985	107	54	116	1388	105
2	TH1809	100	4282	105	768	1210	1978	106	61	118	1423	108
3	P9400	100~105	4543	111	863	1203	2065	111	58	122	1469	111
4	KE8500A	105	5066	124	1038	1036	2074	111	50	119	1431	108
5	標準 36B08	106	4095	100	791	1072	1863	100	58	110	1322	100
6	KE1581	108	5229	98	975	1107	2082	89	53	121	1453	87
7	KE0604	110	4735	88	840	1208	2047	88	59	122	1461	87
8	北交72号	110	4881	91	859	1191	2050	88	58	121	1458	87
9	標準 セシリア	115	5352	100	880	1446	2326	100	62	140	1678	100
10	B308	115	5102	95	799	1491	2290	98	65	139	1670	100
11	KE9601	115	5519	103	1195	634	1830	79	35	99	1189	71
12	B703	120	6181	101	965	1573	2538	96	62	152	1830	98
13	SM8490	122	6609	108	1719	1155	2874	109	40	159	1910	102
14	SM8656	125	6746	110	1312	1318	2630	99	50	151	1815	97
15	標準 32F27	126	6107	100	1162	1483	2645	100	56	155	1867	100
16	KE7750	127	7112	116	1511	1068	2579	98	41	144	1722	92

文 献

独立行政法人畜産草地研究所. 2001. 飼料作物系
 統適応性検定試験実施要領(改定5版). 畜産装
 置研究所平成13-1資料. 農林水産技術会議事務
 局